

## 特集

進めていますか？

我が家の地震対策……………②～④

- 土砂等による埋立てには……………⑤
- 熱中症・食中毒にご用心！……………⑥
- 地域活動ファイル ほか……………⑦
- まちのわだいアラカルト……………⑧～⑨
- みんなのひろば……………⑩～⑪
- カメラリポート ほか……………⑫



つめたくて、きもちいい～！

今年も梅雨明けを前にやってきた気温30度を超える真夏日。中村・木之花保育園児が交流保育の一環で、中井中央公園水辺の広場で仲良く水遊びをしました。

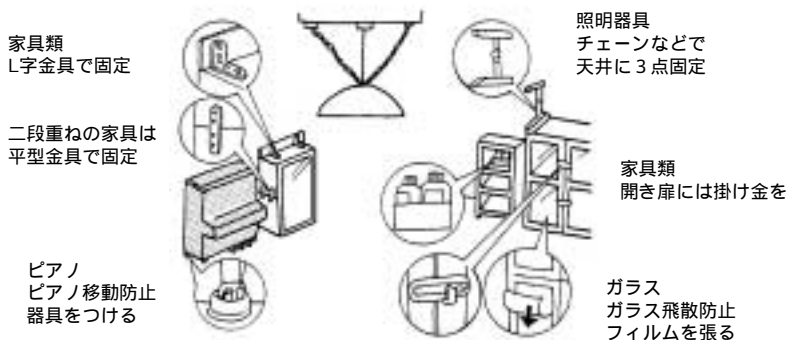
# 進めていますか？

## 我が家の地震対策

「地震の安全地帯はない」といわれている日本。東海地震や神奈川県西部地震はいつ起こってもおかしくない状況にあるといわれています。最近でも各地で地震が発生し、4月以降、県内では震度4を記録する地震が2回発生しています。災害時に被害を最小限にとどめるには、普段からの備えが大切です。この機会に「我が家の地震対策」について再確認してみましょう。

### 地震対策の重要ポイント

- ご家庭で地震対策をする上で重要なポイントは、地震が発生し、揺れている間に「死なないこと」「怪我をしないこと」です。そのため、次のような安全対策を行いましょう。
- ①家具や電化製品などをしっかりと固定する。
  - ②窓ガラス、食器類の飛散防止。
  - ③自宅の耐震化、危険箇所の修理。  
※町では、木造住宅耐震診断費補助事業を実施しています。詳しくは、まち整備課☎(81)3901までご連絡ください。
  - ④自宅の中に逃げ場となる安全なスペースの確保。



### 家の中の安全対策 チェックポイント

- 家具はL字金具や支え棒で固定し、板の間に置く。また、人の出入りが少ない部屋にまとめて置く。
  - 重い物(テレビ等)は家具等の上に置かない。
  - 逃げ場となる安全な空間を確保する。
  - お年寄りや子どものいる部屋には、大きな家具等を置かない。
  - 玄関や廊下に家具や荷物を置かない。
  - ガラスには飛散防止フィルムを張る。
  - 食器棚には、食器類が飛び出さないように止め金具を付ける。
  - 3日分の食料、常備薬などの非常持ち出し品を準備する。
- ### 家の外の安全対策 チェックポイント
- 屋根瓦やアンテナは固定する。
  - ベランダを整理整頓し、落下するおそれのある物は置かない。
  - ブロック塀や門柱などにひび割れ等ないかチェックし、問題があれば修理する。
  - プロパンガスのボンベは、倒れないように鎖等で転倒防止対策をする。

### 避難の心得

安全に避難するためには…

- ①避難の前に、もう一度火の元を確かめる。(ガスの元栓を閉め、ブレーカーを切る。)
- ②避難先や、安否情報を書き、家族に情報を残す。
- ③荷物は必要最低限にする。
- ④防災ずきん(ヘルメット)、長袖、長ズボンなど、安全な服を着る。
- ⑤車は使わず歩いて避難する。
- ⑥お年寄りや子どもに気を配り、しっかりと手を握る。
- ⑦狭い路地、川べり、崖地、落下物の危険がある場所は避ける。
- ⑧地区の一時避難場所へ避難する。



# 非常持ち出し品リスト

## 家族の安否確認には災害用伝言ダイヤルを

災害時には電話の使用が制限されるため、家族の安否確認はN T T災害用伝言ダイヤル「171」を利用します。被災者の方が録音した安否情報などを確認することができます（録音時間／1伝言30秒以内）。

### 伝言の録音方法

171 にダイヤルする

←ガイダンスが流れます

録音の場合 ①

←ガイダンスが流れます

(×××) ×××-××××

自宅の電話番号（市外局番から）

### 伝言の再生方法

171 にダイヤルする

←ガイダンスが流れます

再生の場合 ②

←ガイダンスが流れます

(×××) ×××-××××

自宅の電話番号（市外局番から）

## 疑似体験ができます

神奈川県総合防災センターでは、地震等の疑似体験ができ、防災に役立つ情報がいろいろあります。いざというときのために、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

### 【疑似体験】

地震体験：震度7までの地震体験

煙体験：煙の中での避難体験

風水害体験：風速30m/秒の暴風雨の体験



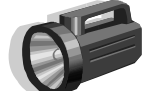




消火体験：火災での初期消火体験

### 問合せ

神奈川県総合防災センター  
厚木市下津古久280  
☎046-227-1700

## 一次持ち出し品

発災直後、最初に避難するときには持ち出すもの。避難に支障が出ないよう軽量でコンパクトな物を選ぶことが重要です。

非常食	カンパン、缶詰のように保存期間が長く、火を通さなくて食べられるようなものがよい。	
飲料水	ペットボトル入りのミネラルウォーターが便利。スチール缶は重い、保存期間が長い。	
懐中電灯	停電時、夜間の避難には必需品。予備の電池も忘れずに。	
携帯ラジオ	正確な情報を得るための必需品。AM、FM両方聞けるものがよい。	
救急薬品・常備薬	消毒薬、解熱剤、風邪薬、鎮痛剤、絆創膏、包帯等。持病のある方は常備薬を忘れないように。	
貴重品	現金（公衆電話用の10円玉も）、預貯金通帳、健康保険証、免許証等。	
その他	ヘルメット、下着、上着、くつ下、タオル、生理用品、軍手、ライター、ティッシュ、おしぼり、紙おむつなど。	

## 二次持ち出し品

災害復旧までの数日間を自活するための非常備蓄品です。最低3日分、できれば5日分を準備しましょう。

非常食	そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるものがよい。缶詰、レトルト食品、インスタントラーメン、切り餅など。
水	飲料水の目安は1日1人3ℓ程度。家族構成を考えて準備する。風呂の水も抜かずにおくと生活用水として利用できる。
生活用品	卓上コンロ、固形燃料、毛布、洗面用具、トイレトーパー、ビニール袋など。

### ● 広域避難場所 ●

- 中村上地区 中井中学校
- 中村下地区 中井小学校
- 井ノ口地区 井ノ口小学校
- 境地区 境コミュニティセンター
- 町内全域 中井中央公園

外出時などに被災した場合、家族と避難場所で合流できるように、家族で避難場所や避難ルート上の危険な場所について確認しましょう。



## 避難場所の確認を

外出時などに被災した場合、家族と避難場所で合流できるように、家族で避難場所や避難ルート上の危険な場所について確認しましょう。



地域はみんなの手で守る！！

9月3日(日)

# 防災訓練に参加しよう！

大地震などの災害から身を守るには、第一に各家庭での防災の備えが欠かせません。しかし、個人や家族の力だけでは限界もあります。そこで必要になってくるのが、地域の自主防災活動です。本町では、各自治会単位で自主防災会が組織されています。

町内全域が被災するような大規模な災害時には、消防や救急が対応しきれなくなります。そこで求められるのが、「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えと自主防災会の組織力・行動力です。防災訓練に積極的に参加し、地域の連帯と防災意識を高めましよう。

## 各自主防災会に防災リーダーを

防災リーダーは、自主防災会長の補佐役として、防災知識・技術の習得に努め、地域の防災意識の普及・高揚を図っています。現在、町内には21名の防災リーダーが活動しています。

町では、各自主防災会に1名以上の防災リーダーを養成するため、定期的に防災リーダー研修会を開催しています。7月8日(土)に行われた研修会では、足柄消防組合署員の指導のもと、普通救命講習を受講しました。



心肺蘇生法の練習

## 中井町消防団

### 町民の安全を守る頼もしい存在

現在、町消防団は、総団員数128名、7つの分団で構成されています。

消防団員は、日頃から機械器具の点検や各種演習・訓練などに取り組み、いざというときに備えています。

7月2日(日)には、中継送水訓練が行われました。この訓練は、火災現場の近くに消火活動に必要な水源がない状況を想定しての訓練です。全分団のポンプ車等をホースで一列につなぎ、水源から遠く離れた火元へ送水を行いました。



迅速かつ連携の取れた団員の行動により、消火活動に十分な水圧の送水に成功しました。

## 役場庁舎1階に

### AED(自動体外式除細動器)を設置

AEDは、除細動(※)を行うために設計された電気ショックの機器です。除細動が必要かどうかを内蔵コンピュータが自動的に判断し、操作手順が音声で指示されるため、一般の人でも簡単に安心して使用することができます。

※心筋梗塞など突然の心疾患で人が倒れた場合の多くは、心室細動と呼ばれる状態になります。この心室細動を正常な状態に戻す方法が、心臓に電気ショックを加えて細動を取り除く「除細動」です。



● AED設置場所(町内公共施設)

- ・ 役場庁舎1階
- ・ 保健福祉センター1階
- ・ 井ノ口公民館1階

# 土砂等による埋立てには許可が必要です

土砂等による埋立てを行う場合には、町または県の条例による許可が必要となることをご存知ですか？

中井町の水道は、良質で豊富な地下水を水源に利用しています。

この良質で豊富な地下水をこれからも活用し、町民の良好な生活環境を確保するために、町では、平成7年に「土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例」を定め、土砂等による埋立ての規制を行っています。

## ■どのような場合に許可が必要なのか？

### ①町の許可が必要な場合

- 面積500平方メートル以上、2,000平方メートル未満の埋立て・盛土・切土
- 面積500平方メートル未満でも、現況地盤より1メートル以上の差を生じる埋立て・盛土・切土

※ただし、公共事業、他の法令の許可（農地法第4条または第5条の可）を受けて行われる事業を除く）を受けて行われる場合、日常生活や日常の施設管理で行う軽微なもの、災害の応急措置として行うものは適用されません。

### ②県への届出が必要な場合

- 建設工事又はストックヤードや仮置き場の区域から土砂等を500立方メートル以上搬出する場合は、あらかじめ土砂の搬出に係る計画を作成し、県土木事務所長に届け出なければなりません。
- 県の許可が必要な場合  
○面積2,000平方メートル以上の土砂埋立行為

※この場合、町の許可は必要ありません。

●許可申請前には事前相談が必要です。また、農地造成をする場合にも農地法による手続きが必要になりますので、町または県土木事務所へ必ずご相談ください。

## ■悪質業者には十分ご注意ください！

「良い土があるので、無料で埋め立てます」「工用の土をちょっとだけ置かせてください」「優良農地に造成します」などと言葉巧みに地主に了解をとり、町や県の許可を受けずに土砂等の搬入をはじめ、山のように残土を盛土したり、山林などの傾斜地に投棄してしまう悪質なケースが各地で発生しています。

このような場合に安易に口頭で了解してしまったり、書類に判を押したり、金銭を受け取ってしまったらすると、後で信頼のおけない業者と分かっても、違約金等の事を考え、業者の言いなりになってしまう恐れがあります。悪質な業者にかかると契約を盾にとり、残土や産業廃棄物を大量に投棄してしまい、最後には業者が逃げたままということさえあります。



このようなケースでは、違反者は土地所有者（事業主）となってしまう、施工業者に罰則は与えられません。悪質な業者はこのことを知っていて埋め立てたうえに、町の追求もうまく逃げています。もし業者が逃げ切ってしまったら、埋め立てられた土砂等の後始末は土地所有者の責任となってしまう。この点に留意され、くれぐれも業者の巧みな誘いに乗らないよう十分注意してください。

## ■情報提供をお願いします。

町や各関係機関では、不適切な埋立て行為を防ぐためパトロール等を行っておりますが、みなさんからの身近な情報提供等のご協力をお願いします。

## 問合せ

- 町条例に関すること…まち整備課 計画班 ☎(81)39901
- 県条例に関すること…松田土木事務所 許可指導課 ☎(83)03331
- 農地法の手続きに関すること…経済課 農政班 ☎(81)39902

# 熱中症・食中毒にご用心!

夏真っ盛りの8月。この季節、ニュースでよく耳にする熱中症や食中毒。どちらも皆さんの身近にあり、そのほとんどが軽症で済むことが多いため、つい油断しがちですが、場合によっては生命の危険にさらされることもありますので、十分な注意が必要です。

## 熱中症

### ●主な症状

めまい、倦怠感、体温上昇、発汗多量、筋肉のけいれん、意識障害など

### ●予防のポイント

- ① 炎天下や非常に暑い場所での長時間の作業やスポーツは避ける。屋内でも起こり得るので注意が必要。
- ② 水分を十分に補給する。
- ③ 体調が悪いときは無理をしない。
- ④ こまめに休憩をとる。
- ⑤ 外出時は帽子をかぶる、日傘をさすなど、直接日光に当たらないようにする。



### ●熱中症かな?と思ったら

- ① 衣服をゆるめる。
- ② 風通しのよい日陰や、冷房の効いた所に移動する。
- ③ 冷たい水で冷やしたタオルなどを脇の下や足の付け根に置き、体を冷やす。
- ④ 早めに医療機関で受診する。
- ⑤ 自分で飲めるようなら、水分補給をさせる。ただし、意識障害などがあり、自力で飲めそうもない場合は無理に水分補給をする必要はありません。



## 食中毒

### ●主な症状

腹痛、下痢、嘔吐、発熱など

### ●予防のポイント

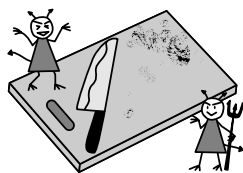
- ① つけない
- ② 増やさない
- ③ 殺す



#### ① つけない

・料理の前や、肉・魚・卵を触ったら、必ず石けんで手を洗う。

・包丁・まな板・鍋などの調理器具は汚れを落して熱湯で殺菌する。



#### ② 増やさない

・調理済の料理や残り物は、すぐに食べるか、冷蔵庫で保存する。  
・冷蔵庫内は10度以下、冷凍庫内はマイナス15度以下に保ち、詰めすぎに注意する。  
・解凍した食品の再冷凍はしない。

#### ③ 殺す

・食品はしっかりと加熱し、中まで火を通す。  
・作り置き食品を温め直す時も十分に加熱する。



### ●食中毒かな?と思ったら

- ① 自己判断で様子を見ずに、速やかに医療機関で受診する。
- ② 脱水症状にならないように水分補給する。
- ③ 下痢止めなどの市販薬を飲まない。
- ④ 安静にする。

### 正しい手洗いが大切

手には、目に見えない菌がいっぱい付いています。調理や食事の前など、こまめに正しい手洗いを心がけましょう。



- ① 指輪などの装飾品を外し、手全体を流水でよく洗い流す。
- ② 石けんを十分に泡立て、手のひらや指の間、つめの間までしっかりと洗う。
- ③ 流水で石けんと汚れを十分洗い流す。
- ④ 乾いた清潔なタオルでふく。濡れたタオルにはたくさん雑菌が付いています。